

地域密着型金融推進計画の取組みについて
(平成20年度上期)

石巻商工信用組合

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況のお知らせ

当組合では、平成19年9月、地域経済活性化への貢献、事業再生・中小企業金融の円滑化、地域の利用者の利便性向上、地域金融機関としての経営力強化等を織りこんだ「第3次地域密着型金融推進計画」を策定し、積極的に取り組んでいるところでございます。

つきましては、平成20年度上期までの進捗状況を公表させていただきます。

平成 20年 11月
石 巻 商 工 信 用 組 合

地域密着型金融推進計画の進捗状況（要約）

1. 平成19年4月～平成20年9月までの全体的な進捗状況

当組合では、平成19年9月に策定した、「第3次地域密着型金融推進計画」につきまして、既に組合員・取引先皆様方に計画の内容を開示させて頂き、その進捗状況を半期毎に公表することと致しておりましたが、平成19年4月～平成20年9月までの実施内容は下記の通りとなっておりますのでお知らせ致します。

「第3次地域密着型金融推進計画」は、事業再生支援強化、中小企業金融の円滑化、地域経済への貢献、利用者の利便性の向上並びに当組合経営力の強化に向けた取組みについて、お客様や地域の皆様のご要望にお応えすべく、「選択と集中」により、協同組織金融機関として相互扶助・非営利といった特性を生かし、皆様の経営安定に貢献する為に積極的に取組む方針であり、現在実施スケジュールに基づき着実に実践しているところでございます。

平成20年9月までの進捗状況につきましてその内容を要約しますと、平成19年度上期は① 推進計画の趣旨を全役職員へ周知徹底、② 組合員・取引先皆様への公表、③ 個別項目の計画推進の為に事前調査、等態勢整備を行いました。又、平成19年度下期から平成20年度上期につきましては、個別項目毎の実施スケジュールに基づき、特に具体的実施策の末尾に★印の項目を中心に活動に着手しており、実効性のある取組みとなっているものと確信しているところでございます。

尚、平成20年度下期の進捗状況につきましては、平成21年5月中に公表する予定となっております。

2. 地域密着型金融推進計画に基づく個別取組みの進捗状況

項 目	内 容	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 経営改善支援		
① 事業所取引先経営改善支援活動の取組み ★	取組み方針 及び目標	・事業所取引先再生支援活動を見直し、対象先の選定及び財務内容に応じた具体的な経営改善計画書等を活用すると共に、新たにSKCセンターの中小企業再生支援システムの導入を検討、本部・営業店一体となった相談・支援機能を強化し、取引先の経営改善に努めます。
	具体的取組策	・(財)みやぎ産業振興機構及びしんくみ「あのねツビズの経営診断提案書」等外部機関の相談・支援機能を積極的に活用し支援策と致します。 ・事業所取引先再生支援先へは本部、営業店が一体となった改善指導を実施し、継続的な訪問活動により再生支援に取組みます。
	スケジュール	19年度～21年度 ・事業所取引先再生支援活動見直しを検討、対象先の選定及び活用資料等の再整備。 ・SKCセンターの中小企業再生支援システム導入検討。 ・(財)みやぎ産業振興機構の無料相談会の活用促進。 ・しんくみ「あのねツビズの経営相談提案書」活用の周知徹底。
	進捗状況	・事業所取引先経営再生支援先について、各営業店と協議し平成19・20年度は各44先を指定させて頂き、中小企業再生支援システムにより、「企業診断書」を作成し財務分析による経営改善支援活動を取組みした結果、平成20年度9月末まで債務者区分の良化先が2先ございました。 ・しんくみあのねツビズの活用によりお取引先に対し、経営診断レポートを提案させて頂き、コンサルティング活動を実施致しました。 ・平成20年度上期、(財)みやぎ産業振興機構主催の経営相談会に、当組合の紹介により取引先1社が経営相談支援連携を実施しております。

項 目	内 容		容	
(2) 創業・新事業支援				
① 公的制度やネットワークを活用した情報提供・相談機能の強化 ★	取組み方針及び目標	・(財)みやぎ産業振興機構・商工会議所、商工会、市・町等の創業支援機能を活用した情報提供を行うとともに、同団体協調による企業支援等のネットワークを積極的に活用する方針です。又、当組合独自の商品開発及び信用保証協会等の制度融資の継続活用を行う計画です。		
	具体的取組策	・(財)みやぎ産業振興機構・商工会議所、商工会、市・町等の創業支援機能(窓口相談機能、専門家派遣機能、債務保証・融資事業、各種助成事業、研修事業、ビジネスマッチング他)を、創業・新事業予定企業へ紹介するとともに当組合のお客様へ積極的に対応致します。		
	スケジュール	19年度 ～ 21年度	・当組合独自の創業・新事業関連融資商品新設検討。・創業、新事業案件の相談機能強化の為、職員を研修へ派遣し人材育成に努める。 ・信用保証協会の創業関連保証制度の周知徹底。・(財)みやぎ産業振興機構・商工会議所、商工会、市・町等の機能のPR活動を実施する。	
	進捗状況	・平成19年11月中小企業大学校主催「地域金融機関のためのビジネスモデル目利き」講座に店長2名を派遣致し人材育成策と致しました。 ・平成20年2月しんくみ創業・新事業支援ローン「フロンティアⅠ・Ⅱ」を発売し、支援体制の強化策と致しました。 ・平成20年度経済産業省との連携により「地域力連携拠点事業」を展開し、取引先中小企業の皆様が抱えている「経営力の向上」、「新事業の展開」等様々な課題に対する相談窓口を設置し対応の結果、平成20年9月末まで各種相談を18件受付し、現在進行中であります。		
(3) 事業継承支援				
① 財務書類の作成及び後継者育成に係る相談ニーズの対応 ★	取組み方針及び目標	・税理士等のアドバイスを活用した情報提供等や、(財)みやぎ産業振興機構・商工会議所・商工会のネットワークを積極的に活用する方針です。 ・取引先企業が組織した各種団体への参画及び中小企業基盤整備機構との連携によるセミナーの開催により後継者問題に取り組んでまいります。		
	具体的取組策	・各団体(商工会議所、各中小企業組織等)が主催・後援する研修・講習会等へ参画するとともに、積極的に支援してまいります。 ・取引先企業の抱える課題およびニーズにマッチした講演会・経営セミナーを開催致します。		
	スケジュール	19年度 ～ 21年度	・各種団体が主催する研修会・勉強会等へ参画・後援の実施。・中小企業基盤整備機構との連携により、若手経営者の為のセミナー開催。 ・公的機関((財)みやぎ産業振興機構・商工会議所)ネットワークの活用検討。・青年会議所・商工会議所青年部等への働きかけの実施。	
	進捗状況	・平成20年9月末まで、当組合の紹介により取引先企業と(財)みやぎ産業振興機構との相談が2件成立し、現在事業継承後のフォロー支援を実施しております。尚、平成20年度上期の相談先につきましては、中小企業診断士等の専門家派遣対応を予定しております。 ・平成20年2月中小企業基盤整備機構との連携により、「会計啓発・普及セミナー(経営力を高める)」をテーマに実践講座を開催致しました。		
(4) 事業再生支援				
① 商工会議所、商工会、中小企業再生支援協議会等、他機関との連携	取組み方針及び目標	・中小企業再生支援協議会等の機能活用については、事案が発生次第、取引先と相談しながら、同協議会への持込みについて検討致します。 ・商工会議所・商工会が実施している人材紹介事業等を活用した専門家の派遣指導を積極的に活用してまいります。		
	具体的取組策	・中小企業再生支援協議会からの協力要請に対応するとともに、協調支援可能先に対しては積極的に取り組んでまいります。 ・事業所支援課が主体となり、対象企業の選択を行い、商工会議所・商工会が実施している人材紹介事業の活用を積極的に行ってまいります。		
	スケジュール	19年度 ～ 21年度	・事業所支援課、審査課、管理課との連携による、中小企業再生支援協議会への持込み先の検討。 ・商工会議所・商工会を通じた専門家の派遣による経営者意識改革の促進並びに再生計画についての協議指導の実施。	
	進捗状況	・「地域力拠点事業」の経営相談により、取引先1社が中小企業再生支援協議会と事業再生に向け協議中であります。 ・「営業店長グループ別協議会」、「融資推進プロジェクト会議」で、商工会議所等が実施している専門家の派遣指導の周知徹底を図りました。		

項 目	内 容		
2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
(1) 事業価値を見極める融資			
① 目利き能力の向上、人材育成 ★	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国信用組合中央協会、宮城県信用組合協会及び中小企業大学校仙台校主催の研修講座へ職員を派遣し、スキル向上に努めてまいります。 又、(財)みやぎ産業振興機構等の経営指導をお客様と共に受け、その内容について研究、検討しながら、スキル向上策と致します。 	
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県信用組合主催の「目利きと勘所」、中小企業大学校「リレバン時代の目利き能力強化」講座へ職員を派遣し、スキルアップに努めます。 ・(財)みやぎ産業振興機構等の公的支援制度の活用について検討しお客様へ提案できる態勢の確立に努めてまいります。 	
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	<ul style="list-style-type: none"> ・全国信用組合中央協会、宮城県信用組合協会及び中小企業大学校仙台校主催の講座へ職員を派遣。 ・外部講師による研修の実施。 ・(財)みやぎ産業振興機構等公的支援制度の提案内容に基づく研究会・勉強会の実施。
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度において宮城県信用組合協会「企業再生と第二創業支援のための目利きと勘所」講座に役職員11名、全国信用組合中央協会「企業再生支援」講座に課長1名、中小企業大学校「企業の目利きのポイント」及び「目利き講座」にそれぞれ役職員2名を派遣し受講いたしました。 ・平成20年度上期において宮城県信用組合協会「企業再生と第二創業支援のための目利きと勘所」講座に役職員13名、「中小企業支援策活用研修会」役席者7名、(財)みやぎ産業振興機構主催「事業再構築セミナー」に本部役席及び営業店長11名を派遣し受講致しました。 	
② 不動産担保・保証に過度に依存しない融資の積極的取組み ★	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の無担保ローンの取組みを強化するとともに、経営実績、経営者の経営資質を重視した融資の取組みを継続して行ってまいります。又、現在の信用格付制度を基に、ローンレビューを継続実施し、取引先のモニタリングを行っていく方針です。 	
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> ・無担保・無保証ローンの取組みについては「融資推進プロジェクト会議」等で各営業店の進捗状況を確認し、取組みの強化を図ってまいります。 ・当組合の業績評価項目に無担保商品「パートナー」の実績をカウントして反映させ、取組みの強化策として行く方針です。 	
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	<ul style="list-style-type: none"> ・無担保、無保証ローンの取組み強化 ・経営実績・経営者の経営資質を重視した融資の取組み ・信用格付制度の財務分析資料のデータ蓄積と活用の検討
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年度「パートナー」及び「リレーション」等無担保商品実施目標150件10億円に対し、132件9.02億円の実績で推移しております。 ・平成19年度及び20年度営業店業績評価制度の項目に「パートナー」の実績評価を組入れ、推進の強化策と致しております。 ・平成20年度上期「パートナー」及び「リレーション」等無担保商品取組みとして、23件339百万円の実績で推移しております。 	
③ 動産・債権譲渡担保融資の適正な活用	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県信用保証協会付の流動資産担保融資保証制度を積極的に取組むと共に、各営業店に対し、当組合お取引先の財務分析から、正常運転資金を見極めた対応を強化し、案件毎の取組みを実施する方針であります。 	
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県信用保証協会付の流動資産担保融資保証制度の内容について営業店へ周知徹底しお客様へのPRを強化致します。 ・審査課で、案件時の資金使途に対する正常運転資金を分析し、特に短期運転資金等の取組みについて営業店への指導を強化致します。 	
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	<ul style="list-style-type: none"> ・流動資産担保融資保証制度について宮城県信用保証協会の説明会、研修会に職員派遣。 ・融資推進プロジェクト会議等で取組み指導。 ・審査課による融資審査等の継続的な研修を実施し、財務内容から資金使途に応じた分析力向上の為の指導徹底。
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県信用保証協会との定期的な勉強会を通じ、関連融資に対するスキルアップを図っております。又、「融資推進プロジェクト会議」の開催により流動資産担保融資の取組み強化を徹底してまいりたいと考えております。平成19年度取組み実績は25件116百万円となっております。 ・平成20年度も上記と同様の取組みを行っており、上期の流動資産担保融資保証の実行実績は9件30百万円となっております。 	

項 目	内 容	
(2) 中小企業に適した資金提供手法の徹底		
① 個人・小規模事業者への資金ニーズに対する きめ細やかな対応 ★	取組み方針 及び目標	・お客様個々の案件に対してITを活用した相談機能を充実すると共に、当組合独自商品の開発によりきめ細やかな対応を行っていく方針です。又、層別管理態勢のレベルアップにより、お客様のニーズに対応した営業推進態勢を確立してまいります。
	具体的取組策	・コンサルティング機能の強化の為、信用格付システムの財務検討表、全国信用組合中央協会「あのねッビズ」、会計ソフト2006等ご提案書の内容の充実を図ると共に、層別管理の充実並びに当組合各種融資商品の見直し及び新商品開発等により資金ニーズに対応してまいります。
	スケジュール	19年度～21年度 ・層別管理態勢の強化推進 ・当組合融資商品の見直し整備及び新商品の開発検討。 ・信用格付システムの財務検討表活用検討。・しんくみ「あのねッビズ」活用検討。・中小企業基盤整備機構の会計ソフト2006の活用検討。
	進捗状況	・平成19年11月SKCセンターとの提携により「中小企業再生支援システム」の企業診断機能を活用したコンサルティング営業を展開しております。 ・平成20年3月小規模事業者向けビジネスローン「パートナーズ」を発売し、お取引先へのきめ細かい対応の強化策と致しました。 ・平成20年度に外部講師による「営業推進力パワーアップ研修」を導入し、事業所の財務分析力及びコンサルティング機能の向上策と致しました。
② 県、市制度融資の活用・商工会議所、 商工会・政府系金融機関との連携	取組み方針 及び目標	・小規模事業者の皆様の資金ニーズに幅広くお応えする為に、宮城県信用保証協会の保証制度等を積極的に活用してまいります。 ・公的金融機関との協調融資及び商工会議所・商工会との業務提携による会員向け融資等を積極的に推進してまいります。
	具体的取組策	・宮城県信用保証協会の県・市・フラッシュ保証等制度融資を活用し、提案・相談支援を実施してまいります。 ・国民生活金融公庫・中小企業金融公庫との協調融資並びに商工会議所・商工会会員向けメンバーズローンの取組みを実施してまいります。
	スケジュール	19年度～21年度 ・審査課主催の宮城県信用保証協会研修会の実施。 ・国民生活金融公庫・中小企業金融公庫との協調融資について、関係機関との連携強化及び融資取組み策の協議実施。
	進捗状況	・「営業店長グループ別協議会」を通じ、国民生活金融公庫、中小企業金融公庫との協調融資について積極推進を行うよう指導しております。 ・国民生活金融公庫との協調融資の取組み実績として、平成19年度2件17百万円、平成20年度上期1件3百万円ございました。 ・平成20年度上期、国民生活金融公庫との合同会議において、リレーションシップバンキングでの協調融資態勢の取組み確認を行っております。
3. 地域情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1) 地域の面的再生		
① 地方公共団体、経済団体等との連携	取組み方針 及び目標	・行政当局からの要請及び商工会議所・商工会との連携による将来ビジョンの策定に積極的に参加してまいります。 ・地域活性化に向けた商工団体、第3セクター機関の取組みには積極的に協力支援してまいります。
	具体的取組策	・地方公共団体が企画する街づくり委員会及び商工会議所、商工会等で推進している協議会へ積極的に参加し地域ビジョン造りに貢献致します。 ・全信組連、全信中協等中央機関より他地域での地域活性化情報提供を当地域へ発信し、街づくりに貢献してまいります。
	スケジュール	19年度～21年度 ・中央機関より地域活性化に伴う全国的ノウハウの情報提供による地域への発信。 ・各協議会への積極参加。 ・宮城の将来ビジョン、石巻市中心市街地活性化等への参画。 ・地域活性化に向けた商工団体、第3セクター機関からの要請検討。
	進捗状況	・「石巻市中心市街地活性化協議会」「石巻・酒田間地域連携促進協議会」に委員を派遣し、地域のビジョン作りに積極的に参画しております。 ・石巻産学官交流会、地公体等より参加要請があった説明会、講演会に積極的に参加し、ビジョン策定の為の協力体制を整えております。

項 目	内 容		容	
(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供				
① 多重債務者問題解決への役割の発揮 ★	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「しんくみふれあい相談コーナー」の機能を活用し、個別相談による支援策として司法書士・弁護士等専門家への紹介等を実施してまいります。又、渉外活動を通じた相談業務の対応を徹底し、アドバイス及び「おまとめローン」等融資商品のPRを実施してまいります。 		
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> ・多重債務者に落ち入らない様、目的ローン相談時の対応を徹底致します。又、返済過重のお客様に対し、おまとめローンを推進致します。 ・「しんくみふれあい相談コーナー」の機能を活用し、個別相談による支援として司法書士・弁護士等専門家への紹介等を実施してまいります。 		
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	<ul style="list-style-type: none"> ・各店へ再度「しんくみふれあい相談コーナー」の機能活用について周知する。 ・取引先司法書士、弁護士との連携強化。 ・目的ローンの推進PR活動実施。 ・おまとめローン取組み推進。 	
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「しんくみふれあい相談コーナー」による相談窓口を全店で展開すると共に、渉外活動を通じ「おまとめローン」等のPR活動を実施しております。 ・しんくみフリーローン「ライフアップⅠ・Ⅱ・Ⅲ」を発売し、相談業務へのアドバイスを通じ、多重債務防止に役立つ推進活動を実施しております。 		
② コミュニティ・ビジネスやNPOへの支援・ 融資の取組み	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ビジネスは地域の人的資源を生かすという観点、又、創業融資関連の位置づけとしても、相談・支援機能を強化していく方針です。 ・NPOについては、県・商工会議所等への創業支援相談対応を活用すると共に、国民生活金融公庫等との協調融資に取組む方針です。 		
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ビジネスの支援策として、当組合独自の商品を開発検討してまいります。 ・当組合内でのNPO対応の検討及び県・商工会議所等の相談機能の活用、国民生活金融公庫等への紹介並びに協調融資に取組む方針です。 		
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ビジネス向け新商品の検討。 ・県・商工会議所の支援活動の研究及び顧客相談・指導の実施。 ・コミュニティ・ビジネス及びNPOに対する事業目的、資金需要、設立形態内容、活動計画画面、財務内容等の研究実施。 	
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ビジネス及びNPOの事業目的、資金需要、活動内容、設立形態等を研究しどのような支援が出来るか、現在検討中であります。 又、国民生活金融公庫との協調融資の検討並びに当組合独自の融資新商品の開発等につきましても検討してまいります。 ・「地域力連携拠点事業」として、コミュニティ・ビジネス及びNPO等への相談対応並びに他地域で展開しているコミュニティ・ビジネス等への支援等事例研究を踏まえ、対応策を検討中であります。 		
③ 地域社会への貢献・還元	取組み方針 及び目標	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロール活動を展開し、地域住民が安心して暮らせる町づくりの支援と「しんくみピーターパンカード」の取扱を通じた子供会育成会連合会等の活動の支援を継続実施してまいります。尚、「緑のある街づくり推進運動」の植樹寄贈事業等を踏まえ、地域還元事業を実施して行きます。 		
	具体的取組策	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急避難場所として営業店をこども110番連絡所とすると共に、バイクに防犯ステッカーを貼付し、防犯パトロール活動を実施致してまいります。 ・「しんくみピーターパンカード」利用代金の一定割合を各地区の子供会育成会連合会等に寄贈して活動を支援してまいります。 		
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	<ul style="list-style-type: none"> ・所轄警察署の定期的な会議等への参加。 ・「しんくみピーターパンカード」の取扱いを通じて子供会育成会連合会等への継続支援。 ・継続した地域社会の貢献事業の検討及び実施。 	
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年9月、20年3月、21年9月に石巻市・東松島市子供会育成会、石巻管内特別支援学級後援団体連絡協議会「しんくみピーターパンカード」に係る寄付を継続実施させて頂きました。 ・平成19年3月「緑のある街づくり推進運動」の一環として石巻市中瀬公園旧ハリスト正教会堂前にバラの苗150本を植栽させて頂きました。 尚、平成20年度上期は、役職員によるボランティアチームを立上げ、バラ園内の草取り、清掃による美化活動を展開しております。 ・営業活動用のバイクに防犯ステッカーを添付し、渉外活動を通じた防犯パトロール活動の展開並びに各営業店を地域の子どもの緊急避難場所として提供させて頂き、地域と一体となった取組みを展開しております。 		

項 目	内 容		容	
4. 経営力の強化				
(1) リスク管理態勢の充実				
① リスク管理態勢の構築及び情報開示の充実	取組み方針 及び目標	・内部統制態勢及び統合的リスク管理態勢の構築により、リスク管理態勢の強化を図ると共に、ディスクロージャー誌等の情報開示内容の充実を図ってまいります。		
	具体的取組策	・信用リスク、市場リスク、金利リスク、オペレーショナルリスク等の各リスク所管部署において、計測・分析等を行い精度を高めてまいります。 ・各種リスク管理状況について内部監査、監事監査を実施し相互牽制を図ります。又、ディスクロージャー誌等で継続的な公開を実施致します。		
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	・信用リスク、市場リスク、金利リスク、オペレーショナルリスク等チェック強化及び常務会・理事会への定期報告の実施。 ・内部監査、監事監査の継続実施。 ・ディスクロージャー誌等による情報開示。 ・内部統制システムの構築検討。	
	進捗状況	・平成19年11月に、新BIS規制に関する「自己資本の充実状況」「金利リスク量」を含めた上半期ディスクロージャー誌を発刊しております。 ・平成19年度に「統合的リスク管理方針・管理規定・管理マニュアル」を策定、平成20年4月1日より適用し管理態勢の充実を図っております。 尚、平成20年6月期より上記マニュアルに基づき、統合的リスク量を算出し、経営管理を実施しております。 ・平成20年7月に、各リスク管理態勢を含めた平成20年3月期のディスクロージャー誌を発刊致しております。		
② 経営の健全性維持・向上 ★	取組み方針 及び目標	・健全経営の維持と経営の透明性確保の観点から、厳正な自己査定の実施および適正な償却・引当の実施を継続してまいります。 ・リスク管理債権比率目標 平成19年度 6.3%、平成20年度 6.7%と致します。尚、各年度の目標は、各年度当初に作成するものと致します。		
	具体的取組策	・管理課による自己査定実務研修会を実施し一次査定部門の正確性の向上を図ると共に、二次査定部門による十分な検証を実施致します。 ・自己査定、償却・引当について、内部監査、常勤監事検証、外部監査法人の受監を通じ、精度の向上を図ってまいります。		
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	・検査課・常勤監事による自己査定、償却・引当金の検証実施。 ・外部監査法人による自己査定レビューの実施。 ・店長並びに自己査定担当役席者に対する自己査定実務研修会、説明会の実施。	
	進捗状況	・「自己査定基準書マニュアル」の改定等について、平成19年度下期に店長、担当役席者に対し研修会、説明会を実施し自己査定精度の向上策と致しました。尚、平成19年度リスク管理債権比率目標6.3%に対し実績は6.23%となっております。 ・平成20年3月期の自己査定、償却・引当について、外部監査法人の受監、内部監査、常勤監事の検証を実施し、妥当性を確認しております。 ・平成20年9月期のリスク管理債権比率は6.33%となっております。		
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の為の取組み				
① 管理会計の整備及びこれを活用した業績評価の結果に基づく業務の再構築	取組み方針 及び目標	・ALMシステムにより資金収支等の分析力向上を図ってまいります。 ・営業店別独立採算制による収益目標管理を再構築し、業績評価制度へ収益目標管理を組み入れる検討を致します。		
	具体的取組策	・総合予算管理制度については継続実施するものとし、さらにALMの活用により分析力向上と精度を高めてまいります。 ・営業店別独立採算制に基づく収益管理については、一部見直しの上、業績評価に組み入れる検討を実施してまいります。		
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	・営業店別独立採算制度の見直し実施。 ・ALMシステムによる収支計画の分析。 ・業績評価制度の検討。	
	進捗状況	・各営業店別損益算出の際の本支店レートを実態的に見直しすると共に、月次決算を継続的に実施し、総合予算管理の徹底を図っております。 ・平成20年1月にALMシステムにより、19年度及び20年度の資金収支シミュレーションを実施し、それぞれの収益予想を計測しております。 ・平成20年8月にALMシステムにより、20年度下期収支シミュレーションを実施し収益予想を計測しております。		

項 目	内 容		容	
(3)ガバナンスの強化 ① 経営の透明性の確保及び総代会の機能強化	取組み方針 及び目標	・平成19年3月期よりバーゼルⅡの新基準に基づいた項目開示を実施し開示内容の充実を図っており、今後も継続実施致します。又、総代会制度の再周知及び総代・組合員との意見交換の機会を増やすことにより当組合経営の透明性の確保に向けた取組みを実施してまいります。		
	具体的取組策	・財務内容の充実につきましては、必須開示項目を網羅すると共に、組合独自項目の見直し・追加を検討し、充実度を高めた開示といたします。 ・総代地区懇談会の開催及び常勤役員によるお客様訪問により、経営情報の説明実施及び要望等の意見を反映する取組みを行ってまいります。		
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	・バーゼルⅡの新基準に基づいたディスクロージャー誌による3月期の情報開示。 ・ミニディスクロージャー誌による9月期の情報開示。 ・総代会資料、説明方法の検討。 ・総代会内容の開示。 ・総代、組合員への常勤役員訪問実施。 ・総代地区懇談会の検討及び開催。	
	進捗状況	・平成19年9月期のミニ・ディスクロージャー誌でバーゼルⅡの新基準に基づいた半期開示項目により、財務内容を公開しております。 ・平成19年11月総代地区懇談会を4ヶ所で開催致しました。尚、ご意見ご要望に対しましては、平成20年度の経営計画に反映させて頂きました。 ・平成20年3月期のディスクロージャー誌に必須開示項目を網羅すると共に、地域密着型金融の取り組み状況等、組合独自の開示項目を追加し充実度を高めた掲載内容と致しました。		
5. 地域利用者の利便性の向上				
(1)地域利用者の満足度を重視した経営の徹底 ★	取組み方針 及び目標	・アンケート等により「利用者の満足度調査」並びに総代地区懇談会の開催及び常勤役員による総代、組合員への訪問を実施し要望等の把握により組合経営に意見を反映する仕組みづくりを行ってまいります。又、お客様への説明態勢及び相談・苦情対応の強化を図ってまいります		
	具体的取組策	・年1回のアンケートによる利用者の満足度調査の継続実施とアンケート調査結果分析と対応策の検討、実施を行ってまいります。 ・常勤役員による総代・組合員への訪問の実施及び総代地区懇談会の開催により、要望等を把握し意見を反映させる取組みを行ってまいります。		
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	・アンケート調査の実施及び結果分析と対応策の検討。 ・常勤役員による総代・組合員への表敬訪問の実施。 ・総代地区懇談会の検討、開催実施。 ・顧客サポート態勢の確立。 ・商品説明、親切丁寧な応対等による説明態勢の確立。	
	進捗状況	・平成20年1月に実施した「顧客満足度アンケート調査」でのご回答書の分析を行い、平成20年度の改善計画を立案すると共に、実効性を高める為、本部、営業店一体となったCS委員会を立上げ現在取り組み中でございます。 ・総代地区懇談会にご出席を頂けなかった総代の皆様並びに組合員の皆様に対し、常勤役員が表敬訪問を実施し意見交換をさせて頂きました。		
6. 進捗状況の公表				
(1)年2回進捗状況の公表	取組み方針 及び目標	・半期毎の進捗状況を継続公表してまいります。		
	具体的取組策	・進捗状況について店舗備え置きにより内容を公表しております。又一部項目につきましてはディスクロージャー誌等により公表致しております。		
	スケジ ュール	19年度 ～ 21年度	・地域密着型金融推進計画の公表 ・半期毎の進捗状況についての公表 ・基本的には平成21年度まで継続実施とするが、金融情勢の大幅な変化があれば、取組み項目の変更等について検討する。	
	進捗状況	・「地域密着型金融推進計画」の進捗状況につきましては、実施スケジュール通り、平成19年上期分を平成19年12月に、平成19年度分を平成20年5月にそれぞれ開示致し、今回、平成20年度上期分の公表となりました。		

※今回の取組み項目につきましては、いずれも大切な課題ですが、当組合として特に項目の末尾に★印のついてある9項目を最優先課題として取組む方針です。

石 巻 商 工 信 用 組 合